

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市沖野老人福祉センター		
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会事業協会		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 7,409人(前年度比 48.0%) 令和4年度 15,432人 令和3年度 16,577人		
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 27,654千円 (36,697千円) ・ その他市が負担した費用 197,803千円 (36,051千円) ※大規模改修に伴う費用含む		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 令和6年2月～3月に利用者アンケートを実施、それに併せてセンター独自アンケートも実施した。また、管理運営委員会において各委員との意見交換を行い、提案内容や要望等を反映し、事業運営を行った。		

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 仙台市社会事業協会）による自己評価》
<p>令和5年度は大規模改修工事に伴い長期休館となっていたが、隣接する市民センター等で部屋を借用し、できる限りこれまでと同じような内容を盛り込んで事業を継続した。開催事業については、介護予防のための事業、防犯・交通安全講座など、高齢者が身近に感じられるような事業を中心に、共生社会の実現を目指した世代間交流、障害理解講座等も取り入れて実施することができた。</p> <p>12月1日に再開した当初は多少の混乱も見られたが、程なく通常通りの営業に戻り、館内にも賑やかさが戻っている。再開に伴い、新しい職員を迎えたため、業務がスムーズに遂行できるよう、人材育成にも力を注いだ。</p> <p>感染症対策は、新型コロナウイルスが5類に移行した後も、感染症蔓延が高齢者にとって高リスクであることを継続的に利用者に伝え、感染予防の為に対策（検温、消毒、マスク着用等）を継続して行うことで、安心して利用していただけるセンター運営を目指した。</p> <p>利用者の声を大事にし事業に取り入れるという観点から、ご意見箱の設置やアンケート調査等実施しているが、普段のコミュニケーションを深めることで、何気ない会話の中に様々な意見を頂戴することが多いので、聞き流すことのないよう職員に周知している。苦情、要望等が聞かれた場合は、受付書記入の上、改善策を検討し、利用者の満足につながるよう取り組んでいる。</p> <p>地域連携の取り組みとして、町内会の福祉委員会、自主防災組織に所属し、定期的な会議や防災訓練等に参加することで、地域福祉の情報共有、連携強化に努めた。また、地域包括支援センターや併設する居宅介護支援センターとの連携を深め、要援護者の情報共有をすることで、速やかに適切なサービス利用につながったケースもあった。今後もこれまで行ってきたサービスを継続することで、地域に住まわれる高齢者が、安心して元気に過ごすことのできる地域作りの一翼を担っていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>令和5年度は大規模改修工事に伴う長期休館であったが、市民センター等関係機関と連携し、事業を継続した点は評価できる。</p> <p>感染症対策では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、感染症蔓延が高齢者にとって高リスクであることを継続的に利用者に伝え、感染予防の為に対策を継続して行うことで、安心して利用していただけるよう取り組んでいることから、リスク管理が適切になされている。</p> <p>再開に伴い、新しい職員が加わり業務がスムーズに遂行できるよう、人材育成にも取り組んでおり、利用者の相談に適切に対応できるよう、研修体制も確立されている。</p> <p>利用者の声を大事にし事業に取り入れるという観点から、普段のコミュニケーションの何気ない会話の中に様々な意見があることを認識し、聞き流すことのないよう職員間で共有しているほか、苦情、要望等が聞かれた場合は、受付書記入の上、改善策を検討し、利用者の満足につながるよう取り組んでいる点も評価できる。</p> <p>町内会の福祉委員会、自主防災組織に所属し、定期的な会議や防災訓練等に参加していることのほか、地域包括支援センターや併設する居宅介護支援センターなどの地域福祉を担う各団体との情報共有や他の施設との連携が取られている。</p> <p>以上のことから、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課